allcinema

存在の耐えられない軽さ（1988）

THE UNBEARABLE LIGHTNESS OF BEING

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 173分
初公開日 1988/10/29
公開情報 松竹富士

【解説】

「ライトスタッフ」で一躍有名になったＰ・カウフマンが６８年のチェコ動乱、いわゆる“プラハの春”を題材にして描いた超大作。若者の間に芽生えた民主化要求の波がソ連軍の軍事介入で圧殺されていく中、プレイボーイの医師と二人の女の青春が鮮烈に描かれる。古いニュース・フィルムと本編の画調を完璧に合わせるという離れ技を、ベルイマン作品で鳴らした名カメラマン、スヴェン・ニクヴィストが見事にやってのけている。

有能な脳外科医で女好きのトマシュは、画家のサビーナをはじめ多くの女性たちと自由な関係を楽しむ奔放な独身生活を謳歌していた。そんなある日、ウェイトレスのテレーザと出逢い、同棲生活を始めるトマシュ。それでも彼の女癖は相変わらずだった。ソ連の軍事介入により、ジュネーブへと逃れる２人。しかし、テレーザはトマシュの女癖に堪えられずプラハに戻ってしまう。彼女を追ってトマシュもプラハに戻るのだが…。

【クレジット】

監督	フィリップ・カウフマン	Philip Kaufman		
製作	ソウル・ゼインツ	Saul Zaentz		
製作総指揮	ベルティル・オルソン	Bertil Ohlsson		
原作	ミラン・クンデラ	Milan Kundera		
脚本	ジャン＝クロード・カリエール	Jean-Claude Carrière		
	フィリップ・カウフマン	Philip Kaufman		
撮影	スヴェン・ニクヴィスト	Sven Nykvist		
音楽	レオシュ・ヤナーチェク	Leos Janacek		
	アラン・スプレット	Alan Splet		（選曲・編集）
	マーク・アドラー	Mark Adler		（オリジナル音楽及びアレンジ）
出演	ダニエル・デイ＝ルイス	Daniel Day-Lewis	トマシュ	
	ジュリエット・ビノシュ	Juliette Binoche	テレーザ	
	レナ・オリン	Lena Olin	サビーナ	
	デレク・デ・リント	Derek De Lint		
	エルランド・ヨセフソン	Erland Josephson		
	パヴェル・ランドフスキー	Pavel Landovsky		
	ドナルド・モファット	Donald Moffat		
	ステラン・スカルスガルド	Stellan Skarsgard		

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.